

## No. 1 議会タブレット導入事業

事業概要	議会の会議や議員活動で使用するタブレット端末及び会議システムを導入することで、WEB会議等、密を回避した議会運営を実施
交付金活用額	264万433円
効果・実績等	議員へのタブレット端末配布率：100%
評価	議員へのタブレット端末配布率が100%となっていることから、端末を活用したWEB会議等の密を回避した議会運営ができており、事業効果が十分発現しているといえる。

## No. 2 モバイルノート型端末導入事業

事業概要	管理職が使用する端末をテレワークに対応できるモバイルノート型端末に変更
交付金活用額	391万8,070円
効果・実績等	管理職への端末配布率：100%
評価	全管理職へ端末を配備したことにより、テレワーク実施を推進することができ、事業効果が十分発現しているといえる。

## No. 3 電子決裁システム導入事業

事業概要	文書管理システムに電子決裁システムを導入することでリモートによる決裁実施
交付金活用額	272万388円
効果・実績等	令和4年2月電子決裁率 約67% 令和4年3月電子決裁率 約66% ※電子決裁率とは、文書管理システムに登録した文書のうち、紙文書への押印決裁による処理ではなく、電子決裁システムにより決裁処理を行った文書の割合
評価	電子決裁システムにより作成された文書については、決裁処理がシステム上で可能になったことでテレワークの推進が図れたため、事業効果が十分発現しているといえる。

## No. 4 公共施設感染症対策事業

事業概要	市内公共施設等において、感染拡大を防止しながら、施設管理や市民サービスを提供する上で必要となる衛生物品の購入
交付金活用額	202万8,247円
効果・実績等	除菌ウェットシート購入数 (100枚入・921箱) 消毒用アルコール購入数 (1斗缶69缶)
評価	市内公共施設等において、感染拡大を防止しながら、施設管理や市民サービスを提供する必要があることから、購入した衛生物品を活用し、市の事業継続対策を推進することができたことから、事業効果が十分発現したといえる。

## No. 5 新型コロナワクチン集団接種会場送迎タクシー 助成事業

事業概要	新型コロナワクチン集団接種会場への高齢者のタクシー利用について、1乗車当たり500円を超える費用を助成
交付金活用額	463万7,900円
効果・実績等	助成件数 6,359件
評価	希望する対象者全てに助成を実施し、ワクチン接種を促進することができたことから、事業効果が十分発現したといえる。

## No. 6 地域情報化推進事業

事業概要	コロナ禍において、人を集めた市民活動を避けるため、WEB等による市民活動等ができるよう市内公共施設に無線LAN機器を設置
交付金活用額	2,135万3,687円
効果・実績等	無線LAN機器設置施設数：19施設
評価	市民活動等を行う市内公共施設に無線LAN機器を設置することができたことから、密にならないWEB等による市民活動等が可能となり、事業効果が十分発現しているといえる。

## No. 7 避難所空調設備設置事業

事業概要	災害時の避難所となる体育館において、感染症拡大防止対策を施した避難所としての環境を整備するため、空調設備を設置
交付金活用額	2,005万4,900円
効果・実績等	大風量スポットエアコン 8台設置
評価	災害時の避難場所となる熊川地域体育館において、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を施した避難所としての環境が整備されたため、事業効果が充分発現しているといえる。

## No. 8 公民館市民活動ライブ配信事業

事業概要	公民館における市民活動について、原則人を集めた公開ではなく、ライブ配信をし、感染防止対策をするために必要な回線を整備
交付金活用額	43万6,282円
効果・実績等	配信実施回数：3回
評価	ライブ配信をすることで、自宅等からの視聴により密を回避できたことから、感染防止対策として事業効果が十分発現しているといえる。

## No. 9 テレワーク環境整備事業

事業概要	テレワークの導入に向け、グループウェアの更新及びテレワーク用端末等の環境整備を実施
交付金活用額	2,335万5,400円
効果・実績等	各課テレワーク用端末配布率：100%
評価	全課へテレワーク用端末を配備したことにより、職員のテレワーク実施を推進することができ、事業効果が十分発現しているといえる。

## No. 10 庶務事務システム導入事業

事業概要	テレワークの実施に向け、庶務事務システム等を導入し、環境整備を実施
交付金活用額	2,333万円
効果・実績等	庶務事務システム整備進捗率：100%
評価	出退勤等を庶務事務システム上で管理することが可能となったことで、テレワークの導入を図ることができ、事業効果が十分発現しているといえる。

## No. 11 ライブ配信用機材整備事業

事業概要	ウイズコロナ・アフターコロナを見据え、新たな情報発信の手法として職員による動画のライブ配信を可能とする備品等を整備
交付金活用額	313万9,963円
効果・実績等	令和3年度ライブ配信実施回数: 3回
評価	動画のライブ配信用機材やインターネット環境を整備したことで、人を集めなくても実施できる、リモートによる情報発信が可能となった。令和4年1月の整備完了後、3回のライブ配信を行い、当日の再生回数の合計も1,200以上となったことから、事業効果が十分発現しているといえる。

## No. 12 プレミアム付商品券事業

事業概要	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受けて落ち込んだ地域経済及び域内消費の早期回復を図るとともに新しい日常における市民の生活応援(市民への還元策)として、地域消費喚起を促す「プレミアム付商品券」事業を実施
交付金活用額	3,011万6,215円
効果・実績等	販売冊数：30,049冊
評価	販売冊数が30,049冊となっていることから、地域経済及び域内消費の回復と市民への生活応援が図られ、事業効果が十分発現しているといえる。

## No. 13 事業者向け感染症対策強化支援事業

事業概要	市内事業者に対し、感染症対策を強化できるよう、一事業者当たり最大3万円の助成金を交付
交付金活用額	1,507万2,000円
効果・実績等	交付件数：594件
評価	交付件数が594件となっていることから、感染症対策強化に必要な助成金を申請事業者へ交付することができており、事業効果が十分発現しているといえる。

## No. 14 小中学校ICT整備推進事業

事業概要	コロナ禍でのオンライン授業実施等のため、市立小中学校の児童・生徒学習用タブレットを整備
交付金活用額	4,332万2,648円
効果・実績等	教員のICT活用能力（C4）： 小学校76.1%（全国速報値70.1%） 中学校66.2%（全国速報値65.9%）
評価	端末の持ち帰りを端末導入初期より実施していることや教員のICT活用能力の向上により、急な休みなどでもスムーズにオンライン授業の実施を行うことができ、事業効果が十分発現しているといえる。

## No. 15 オンライン授業用備品整備事業

事業概要	コロナ禍でのオンライン授業の実施に必要なモニターや電子黒板の整備
交付金活用額	3,579万8,620円
効果・実績等	教員のICT活用能力（C4）： 小学校76.1%（全国速報値70.1%） 中学校66.2%（全国速報値65.9%）
評価	端末を電子黒板やモニターと組み合わせて活用することや、教員のICT活用能力の向上により、オンライン授業や通常の授業時に有効な活用を行うことができ、事業効果が十分発現しているといえる

## No. 16 子ども・子育て支援交付金

事業概要	学童クラブ、延長保育事業、一時預かり事業、病児保育事業における新型コロナウイルス感染症対策の徹底（職員への手当・物品購入支援、備品等の購入）
交付金活用額	366万3,598円
効果・実績等	感染症対策の強化を実施した施設数:市内全ての学童クラブ（16支援単位）、延長保育事業（15施設）、一時預かり事業（1施設）、病児保育事業（2施設）で実施
評価	市内全ての学童クラブ（16支援単位）、延長保育事業（15施設）、一時預かり事業（1施設）、病児保育事業（2施設）で実施となっていることから、マスク・消毒液・空気清浄機等を購入したことによる感染症対策ができており、事業効果が十分発現しているといえる。



## No. 17 保育対策総合支援事業費補助金

事業概要	保育所等が行う新型コロナウイルス感染症感染拡大防止及び職員の支援に資する事業の支援
交付金活用額	434万1,649円
効果・実績等	対象施設の感染症対策実施率:100% (対象20施設のうち、20施設が実施)
評価	対象施設の感染症対策実施率が100%となっており、全ての対象施設を支援することができたことから、保育所等の感染症対策が図られ、事業効果が十分発現しているといえる。

合計事業数 17事業

交付金活用額合計 2億3,993万円